

令和6年度第1回（定期）独立行政法人家畜改良センター

内部統制監視委員会議事要旨

（茨城牧場開催）

1 日 時

令和6年8月28日（水） 11：00～16：00

2 場 所

独立行政法人家畜改良センター茨城牧場大会議室

3 出席者

委員【五十音順】

上安平	冽子	委員	食品安全委員会元委員・放送ディレクター
宮本	多可夫	委員長	弁護士法人宮本法律事務所 弁護士
尹	卿烈	委員	福島大学経済経営学類 教授

4 議事及び主な意見

○ 茨城牧場における防疫体制について

精緻な防疫体制が構築され、マニュアルやガイドラインに沿っていろいろな対策が実施されていることを高く評価する。いままで対応してきた中で経験したリスクから、今後業務を行っていく上で、人間的要素によるリスク（対策が積極的に守られているか、漏れをどう防ぐか、曖昧な判断をどのようになくすか、どのように油断しないようにするかなど）について、牧場内、牧場外部の有識者からの意見等を踏まえ、定期的な確認、検討を引き続き実施願いたい。

この防疫対策がしっかり機能するため、ヒューマンエラーは起こり得るものとの前提に立って、今後起こり得るミスがどのようなときに起きるのか、そのようなときにどのように対応するのかなどについて、家畜改良センター全体でヒヤリハット事例の情報を共有し、各牧場でミスの防止に活用することが重要。

防疫についてのソフト面での対策は、いろいろなノウハウを生かして実

施されており、全体的に高く評価できる。防疫に係る施設の改修等のハード面の対策については、予算の問題もあると思うが、引き続き予算要求等の対応を実施願いたい。

SDGs等、社会との繋がりから、茨城牧場の本来の目的以外でも住民との交流や、汚水等処理など環境保護の対策がしっかり行われていることを高く評価する。